

また、この男の出番がやってきた!

金次郎

合田雅吏 田中美里 成田湊

榎木孝明(特別出演) 柳沢慎吾 田中泯

犬山ヴィーノ 長谷川稀世 竹内まなぶ(カミナリ) 石田たくみ(カミナリ)

渡辺いっけい 石丸謙二郎 綿引勝彦

監督●五十嵐匠

脚本●柏田道夫 原作●「二宮金次郎の一生」(三戸岡道夫 栄光出版社刊) 音楽●寺嶋民哉 プロデューサー●永井正夫

2019年3月10日(日)

第一回上映 9:30開場 10:00開始 第二回上映 13:30開場 14:00開始

今市文化会館大ホール

入場無料・全席自由・要入場整理券 入場整理券は、1月25日(金)より各公民館等で配布。詳しくは裏面をご覧ください。

第二回上映前に、監督・キャストによる舞台挨拶が予定されています。

小学校の校庭に必ずといっていいほどあった金次郎像。
それは貧しさにもめげず黙々と働き、勉強する理想の少年像でした。

しかし、それは二宮金次郎の一部分にすぎません。
その生涯を眺めると想像もつかない偉大で巨大な人物像が浮かび上がってきます。

これまで一度も描かれることのなかった 伝説の巨人二宮金次郎その激動の生涯を初めて完全映画化！

幼い頃、洪水で家を流され、両親が死に貧しさゆえに兄弟とも離れ離れになった二宮金次郎。青年になった金次郎は、小田原藩の家老の家の財政再建をはかり、その功が認められ、桜町領（栃木県真岡市）の復興を任せられます。その地は人心が荒れ、何度役人をやっても逃げて帰ってくる荒地でした。金次郎は、「報徳仕法」と呼ばれる独自のやり方で村を復興させようとしますが、あまりに強引なやり方に百姓たちの反発をかいはじめます。そんな中、小田原藩から豊田正作という一人の侍が派遣されてきます。豊田は百姓上がりの金次郎に反発を覚え次々と邪魔をし始めます。しだいに金次郎に賛同していた百姓たちも豊田を支持するようになります。そんな中、突然金次郎は何も告げずに失踪してしまいます。金次郎は一体どこに？ 百姓たちも行方を知らず、妻なみも一人夫の帰りを待つのですが…。

●監督は「地雷を踏んだらサヨウナラ」「長州ファイブ」など実在の人物を描くことに定評のある五十嵐匠。プロデューサーは「失楽園」「武士の家計簿」の永井正夫、脚本は「武士の家計簿」の柏田道夫、音楽は日本アカデミー賞の寺嶋民哉他、数多くの映画人達が集った。

●キャストは、金次郎役に、役者人生をかけ挑む合田雅吏、妻としての演技が冴えわたる田中美里、小劇場出身の実力派成田湊、今作品でシリアスな演技に驚くほどのリアルをみせる柳沢慎吾、五十嵐作品ではおなじみ犬山ヴィーノ、品格のある小田原藩主を榎木孝明、存在感のある悪役ぶりに磨きがかかる綿引勝彦ほか、長谷川稀世、渡辺いっけい、石丸謙二郎、田中泯など、ベテラン実力派俳優たちが脇を固めている。また、カミナリの竹内まなぶ、石田たくみも作品に花を添えている。



二宮金次郎



製作

映画「二宮金次郎」製作委員会 万葉倶楽部株式会社 井上泰一
日本教科書株式会社 株式会社ストームピクチャーズ

特別協賛

映画「二宮金次郎」市民応援団おだわら

映画「二宮金次郎」日光市民応援委員会

大本山成田山新勝寺 株式会社 **コロナ**

一般社団法人 日本保釈支援協会 株式会社タウンニュース社

協力

全国報徳研究市町村協議会

製作プロダクション

株式会社ストームピクチャーズ

入場整理券取扱場所 ～1月25日(金)より配布開始

- 二宮尊徳記念館 ●今市文化会館 ●日光総合会館
- 生涯学習課 ●日光公民館 ●藤原公民館
- 足尾公民館 ●栗山公民館 ●落合公民館 ●豊岡公民館
- 大沢公民館 ●小林公民館 ●小来川公民館
- 清滝公民館 ●中宮祠公民館 ●三依公民館
- 湯西川公民館

お問い合わせ先

二宮尊徳記念館
日光市今市304-1 TEL 0288-25-7333

主催

映画「二宮金次郎」日光市民応援委員会

共催

日光市 日光市教育委員会